

おだか

第36号

2016

平成28年3月15日(火)

南相馬市

小高小学校

学校だより

お話の部屋

9日(水)は、第3回「お話の部屋」の公演日でした。4校時に下学年、5校時に上学年が鑑賞させていただきました。今回は、おなじみ「アニマル劇場」による、おせち料理のお話。その後は「劇団赤いトマト」さんによる「ケロンクワクワ」と「ペンギンさん」の人形劇です。

「ケロンクワクワ」は、2匹のかえるが、昔、私たちが子どもの頃にやった懐かしい遊びをする劇です。おしくらまんじゅうやチャンバラごっこなど、おもしろおかしく演じてくれました。また「ペンギンさん」は2人の

アニマル劇場のみなさん

ちっちゃな子どもが魔法でペンギンに変身し、南極で本物のペンギンたちと、ペンギンの歌を歌って遊ぶという内容でした。「ケロンクワクワ」の劇は、子どもたちがゲーム機を手にして、めいめいが話もせずに遊んでいる姿を目にして作ったものだそうです。おしくらまんじゅうやチャンバラごっこなど、人と人が実際にふれあったりぶつかったりする遊びの中で、人間関係を学んでいったというお話が印象的でした。

今年度最後の「お話の部屋」でしたので、6年生の佐藤さんがお礼の言葉を述べ、松本さんが花束を贈呈しました。「お話の部屋」は、次年度も継続して行い、読み聞かせや読書への興味・関心を高めて行きたいと思います。



ケロンクワクワ



鑑賞のようす



6年生を送る会

3月 3日（木）の2校時、体育館で6年生を送る会を開きました。各学年5分程度のゲームを通して6年生とふれあう中で、これまでのお世話に感謝する気持ちを表していました。

5年生は、この会の企画・運営も行います。実質的にこの行事により、新しい学校のリーダーとしての自覚も生まれてきたようです。

今回、教職員の歌のプレゼントは、「世界に一つだけの花」でした。一人一人が自分に自信を持ち、自分の良さを伸ばして欲しいという願いをこめています。

最後に鈴木さんが6年生を代表して、6年間の学校生活に思いをはせながら「お礼のことば」を発表しました。



5年生とのふやし鬼



お礼の言葉

音楽鑑賞教室



ピアノの近くで、演奏を見せていただいたところ

地にあるピアノを使って演奏したりしてきました。東日本大震災の発生から5カ月後には日本を訪れ、その後も福島に何度も訪れています。福島市内の3つの中学校が一緒になった合同オーケストラ（福島青年管弦楽団）との共演を行ったり、そのメンバーをロンドンに招待したりしています。今回、3月8日から10日まで南相馬市に滞在する間に、市の小学校を訪問して演奏してくれました。

本校でも10日（木）に演奏をお願いし、鑑賞教室を開きました。フルート奏者のザック・タルパノスさんとともに、低・中・高学年ごとに音楽室で、ギリシャの音楽や、ベートウベンやリストのクラシック、日本の「さくら、さくら」などの曲を聞かせていただきました。音楽の持つ伝える力やイメージを膨らませてくれる力について、演奏を交えながら伝えていただきました。

パノス・カランさんは、ヨーロッパのギリシャ生まれで、現在はイギリスに住んでいるピアニストです。2011年に、パノスさんは、世界中の恵まれない環境に暮らす人々に生きていく勇気を届けようと「キー・オブ・チェンジ」という団体を作りました。

これまでにアフリカやインドなどさまざまな国でキーボードを手にして演奏したり、その土